



化粧品物流の 新たな挑戦 —谷田部センター始動へ

ワールドサプライでは、国内で流通する輸入化粧品をメインターゲットに3PLサービスを提供しています。海外ブランドからお預かりする化粧品を日本国内で流通させるには日本の薬機法に基づく管理が求められます。さらに、香水などのアルコール成分を多く含む商材は消防法上「危険物」として法令に基づいた保管が求められ、物流プロセスは複雑化し、非効率になりがちでした。

お客さまが抱えるこのような課題を解決するため、ワールドサプライは危険物も含むすべての化粧品商材をワンストップで取り扱う「コスメフルフィルメントサービス」を展開してきました。2025年11月にその中核拠点として「谷田部センター」の稼働を開始しました。今回は開設までの経緯について、中心的な役割を果たした当社ロジスティクス部課長・本村 浩司（以下、本村）と、立地をはじめさまざまなご協力をいただいた沼尻産業株式会社取締役・中崎 裕市さん（以下、中崎さん）にお聞きしました。

コンプライアンスと 物流課題の解決を両立する拠点へ

既存事業をアップデートし、コスメフルフィルメントサービスを構築したい——。その思いが谷田部センター構想の出発点でした。ワールドサプライではこれまでも、化粧品・医薬部外品製造業（包装・表示・保管）と物流サービスを提供してきました。しかし、消防法上の危険物に該当する製品、たとえばアルコールを多く含む香水などは、一般倉庫では保管ができず、お客さまが複数拠点で管理せざるを得ない状況がありました。そこで危険物倉庫を設けることで、コンプライアンスを遵守しながら製造・保管・配送をワンストップで提供できる体制を検討。ロジスティクス部の本村は「一般倉庫と危険物倉庫が別々の場所にあることが常識の中で、新しい物流センターを構築することが必要でした。これま

での化粧品物流を大きく変える一手になると確信しました」と振り返ります。

理想と現実のギャップを超えて

本村が目指したのは、製造機能から出荷までを一貫して担う理想の拠点でした。そのためには危険物倉庫が必要です。しかし、危険物を扱える立地や法令基準を満たす施設は限られており、候補地探しは難航しました。「製造と流通だけでなく、危険物倉庫も併設し、一拠点で物流を提供できる環境を整えたい」——。その理想を実現するには、立地条件、構造基準、行政との調整など、現実的な壁をひとつずつ乗り越える必要がありました。その過程で協力を得たのが、茨城県内最大級の規模を誇る物流ネットワークを形成する沼尻産業株式会社でした。同社取締役の中崎さんは本村の構想に共感し、立地条件



当時の経緯を振り返る、沼尻産業・中崎取締役

や法的要件の調整を重ねながら実現に尽力しました。そして最終的に絞り込んだ候補地が、茨城県つくば市の谷田部エリア。主要道路へのアクセスが良く、スーパーシティ型国家戦略特区にも指定されていることから、行政の支援や地域の理解を得やすい環境であることが決め手となりました。多くの関係者の協力のもと、構想から数年を経てプロジェクトはようやく動き出しました。

制約を超えた“ワンチーム”の力

「苦労の連続でしたが、熱意があったからこそ乗り越えられました」と沼尻産業取締役の中崎さんは振り返ります。一般倉庫のある既存の敷地に新たに危険物倉庫を建設するという、通常とは異なるパターンだったためです。中崎さんには、危険物倉庫も含めた理想のセンターを実現するためスペースの調整に多大なご尽力をいただきました。

また、危険物倉庫の建設においては、消防法による面積上限（1,000㎡未満）や防爆・耐火構造の制限などがあります。つくば市で危険物倉庫を新設する例は少なく、規制対応や安全基準の調整には時間を要しました。さらに建設途中には、予定外の“遺跡発掘”という出来事にも直面。それでも行政や地域と



新設した危険物倉庫 つくば市下最大級を誇る

発行元：株式会社ワールドサプライ 経営企画部

連携し、すべての課題をひとつずつ乗り越えていきました。多くの関係者が“ワンチーム”となって取り組んだ結果、念願の危険物倉庫が完成。品質・安全・効率を高い次元で実現する新しい拠点「谷田部センター」が完成しました。

お客さまの信頼に応える拠点へ

こうして誕生した谷田部センターは、単なる物流拠点ではありません。現在、現地採用の約40名が化粧品へのラベル貼付作業に従事しているほか、現場では地域の人材がさまざまな業務で活躍しています。繊細で緻密さが求められる作業からスピードが求められる作業まで、作業内容は多岐に渡りますが、スタッフ全員で商品を最良の状態で届けることを意識しています。温かい職場環境の中で、働く人々の努力と地域の支え、そしてお客さまの信頼に応えたいという思いが息づいています。「温かい職場だからこそ、新しいチャレンジも怖くない」と本村は語り、その言葉にはお客さまの期待に応えることへの誇りが込められています。

ワールドサプライは今後も、谷田部センターを中核として「コスメフルフィルメントサービス」を拡充させ、さらなる課題解決に貢献していきます。



化粧品へのラベル貼付作業。きわめて高い貼付精度が求められており自動化が困難。地域の人たちの協力を得てすべて手作業にて対応

<お問い合わせ先>

株式会社ワールドサプライ

Email : ws@world-supply.co.jp

連絡先：ws@world-supply.co.jp 発行月：2025年11月